第２２回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年６月５日（水）　１８：３０～２０：３０ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁　第５会議室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦　（副部会長）谷﨑　博美(部 会 員)工藤　保秋(庁内委員)南　三明、佐藤　智(事務局)大越　智輝、今野　沙弥 |
| 欠席者 | (部会員)西尾　拓也、荒川　昌伸（庁内委員）相馬　裕一 |
| 議題 | 部会長選出及びテーマの決定について |

● 会議の要点

【テーマの決定と今後の部会の進め方について】

・市の公共的な施設のあり方を考えるというテーマで、公共施設跡地の活用方法や、施設に盛り込むべき機能等を話し合うこととなった。

・１つの施設に絞るのではなく、施設Ａ、施設Ｂ、施設Ｃと何施設かピックアップし、順番に話を進めていく。

・今後の進め方については、例えば、施設Ａについて担当部へ質疑をし、回答に時間がかかるようであれば、次回の部会では施設Ｂの話をする等、状況に応じて進めていく。

～今回の会議では、本庁舎、道の駅、鷲別支署の話が出た～

【本庁舎建替えについて】

（部会員）

・パブリックコメントの方法を変えた方が良い。ホームページや広報紙のみでは市民に十分に周知されていない。市民自治推進委員会や町内会回覧等、浸透するものには全て出した方が良い。

・説明会の時には質疑応答も受け付けた方が良い。

（事務局）

・テーマによっては、パブリックコメントと並行して、地域ごとに説明会を行っている。

・これから総務部で策定スケジュールの案を作っていくが、秋の地区懇談会で皆さんに説明することも今後十分ありえる。その時には、その場で質問をしていただくことも可能かと思う。

（部会員）

・頭金もまだないのに、予算を付けて基本計画を策定するというのはどういうことなのか。お金の環境が整わないのに計画は立てることが出来るのか。

（事務局）

・お金の環境が整ったらすぐに着手出来るように計画を作っている。このような規模という前提で金額を仮定して、基本計画を立てていく。

（部会員）

・空き店舗のリフォームや、民間に作ってもらい市がリースバックする方が安くて良いのではないか。

（庁内委員）

・今回、そういったものも基本計画で考えると聞いている。

（部会員）

・消防に防災センター機能を設けないのであれば、津波の被害のある場所に建てるのは問題があるのではないか。浸水したら、庁舎に行くことが出来ない。

・基本計画も出来ていないのに場所だけ決めるというのはおかしいのではないか。

（庁内委員）

・場所をどこにするか決めないと、周辺をどうするかという話が出来ない。

　⇒総務部に庁舎建替えの進捗状況を確認し、可能であれば次回参加してもらうこととなった。

【道の駅について】

（部会員）

・一昨年の地区懇談会で、道の駅を建設するとしたら場所はどこが良いかという話が出たが、結局、登別市には道の駅が出来るのか。

・登別市全体を観光地化させるのであれば、温泉以外に市内に観光客が来る取組みをしなくてはいけない。道の駅くらいないと、市街地まで人が集まらないと思う。

（庁内委員）

・駐車場とトイレは道路管理者が整備することになると思うが、建物と運営の部分は民間ではないかと思う。成功例もあれば、失敗例もある。例えば魚はそのままだとなかなか売れないということもあり、加工して商品化するところまで出来るのかどうか考えなくてはいけない。

（部会員）

・道の駅を作るとなると、どこが候補地になるのか。幹線道路上にあるかどうかで入場者数がかなり変わると思う。

・道の駅についてきちんと理解しないといけない。土地・建物の所有、経営、補助金の有無等がわからないため、市役所で知識を固めてほしい。

　⇒都市整備部（庁内委員）で道の駅について調べることとなった。次回、総務部の話が終わり、時間があれば説明を行う。

【鷲別支署について】

・鷲別消防が抜けた後、鷲別支署はどうなるのか。壊すのか、改装するのか、そこの部分も話していきたい。

　⇒次回以降、話題に出たタイミングでテーマとして取り上げることとする。

【次回開催について】

　７月１１日（木）１８時３０分～